

SHARP®

エルシーメイト

	ページ
●安全にお使いいただくために	1
●はじめに	2
●お使いになる前に	3
●各部のなまえとスイッチ・キーのはたらき	5
●カウンターとシンボル表示の見かた	10
●時間計算のしかた	15
●日数計算のしかた	19
●基本計算のしかた	22
●応用計算	26
●エラーについて	31
●電源について	33
●仕様	35
●アフターサービス/保証内容について	36
●シャープ電卓ホームページのご案内	37

取扱説明書


学校用電卓


形名 **EL-G37**

安全にお使いいただくために

- 図記号について** この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすると、けがをしたり財産に損害を受ける場合があります。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

注 意

- 電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれて機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。
 - ・電池のプラス“+”の向きを正しく入れる。
 - ・使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
 - ・水や火の中に入れてたり、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。




はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご注意

- この製品を取り出したとき、十分に明るいところであるにもかかわらず、表示が消えている場合、を押してください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

廃棄時の注意事項

- この製品を廃棄する場合は、「電池交換のしかた」にしたがって電池を取り外し、電池と本体に分別してください。
- 製品の廃棄および電池が消耗して取り外した電池は、冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。
- 製品を廃棄するときや電池が消耗したときに取り外した電池は、ショートすることを防ぐため、電池のプラス“+”とマイナス“-”面にセロハンテープを貼るなどして絶縁してください。
- 分別した電池と本体を廃棄する場合は、自治体によって処理、処分のしかたが異なりますので、その指示にしたがってください。

お使いになる前に

おねがい

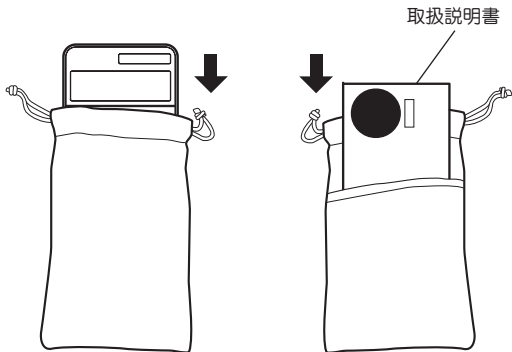
- 日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因になります。
- 液晶表示部や太陽電池部はガラスでできていますので、強く押さないでください。
割れることがあります。
- 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
大きな力が加わり、壊れることがあります。
- お手入れに揮発性の液体(シンナー、ベンジンなど)や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。
変質したり色が変わったりすることがあります。かたい布などを使用すると傷がつくことがあります。
- この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

付属のネームラベル3枚にお名前をご記入のうえ、はく離紙をはがして、電卓、ソフトケースに貼ってご使用ください。
ご注意：ネームラベルは液晶表示部、太陽電池部、デスクスタンド、ネジ穴にかからないように貼ってください。

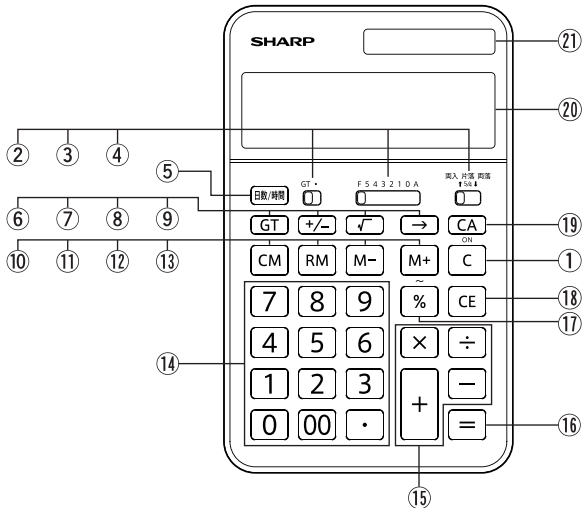
ソフトケースの使いかた

電卓を使用しないとき、また、カバンに入れて持ち運ぶときなどには専用のソフトケースに入れてください。

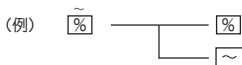
(ポケットには取扱説明書を収納できません。)



各部のなまえとスイッチ・キーのはたらき



この取扱説明書は次のように同じキーでもその働きにより使い分けて記載しています。



① **C** クリアキー

電卓内部の数値や計算命令をクリアしたり、カウンターのリセット(00にする)、日数計算モードや時間計算モードを解除するときにも押します。(メモリー(GTメモリー含む)の内容はクリアされません。)

ON 電源オン(入)キー：電源を入れるときに押します。

② **GT** GTスイッチ (グランドトータルスイッチ)

GT位置：小計(**=**、 **%**)を押して得られる値がGT(累計)メモリーに自動的に加算されます。

小計の累計を求めるときはこの位置にします。

* 日数計算で求めた月・日はGTメモリーには加算されません。

• **位置**：一般の計算を行うときはこの位置にします。

③ **F543210A** TABスイッチ (小数部桁数指定スイッチ)

=、**%**、**M+**、**M-** を押して得られる計算結果の小数部の桁数およびアディングモードを指定します。


F位置：小数部の桁数が固定されません。“浮動”になります。

5、4、3、2、1、0位置：小数部の桁数をそれぞれの桁数に指定します。

A位置：アディングモードを指定します。

加減算において、自動的に小数点の位置を置数値の下位から2桁目に指定します。

ただし、置数に **.** を使用した場合や加減算以外の計算では、この機能は働きません。

- ④  **ラウンド(5/4)スイッチ／両入・片落・両落スイッチ**
ラウンドスイッチ：TABスイッチにより指定された小数部桁数の下位1桁目の処理方法を指定します。
(例えばTABスイッチが3になっている場合、4桁目(小数第4位)が処理されます。)
↑位置：切り上げ 5/4位置：四捨五入 ↓位置：切り捨て
- TABスイッチがF位置にあるときや、計算の途中結果など、小数部の桁数が固定されない場合の端数は、上記指定にかかわらず切り捨てられます。
- 両入・片落・両落スイッチ：日数計算において、“両入”、“片落”、“両落”の指定になります。(19ページ参照)
- ⑤ **日数/時間** 日数/時間計算キー：
- 初めてお使いになるときや、電池交換後に最初に押したときは、日数計算モードになります。続けて押していくと、時間計算モード、日数計算モード、と切り替わります。
 - **C**を押して解除した後にこのキーを押すと、前回使用していたモードになります。
 - 日付(月・日)を入力するとき、時間を入力するとき、10進数と時間(60進数)の変換を行うときにも使用します。
- ⑥ **GT** GTキー：GTメモリーの内容を呼び出します。
2回続けて押せばGTメモリーの内容をクリアします。
- ⑦ **+/-** サインチェンジキー：表示数値の符号を反転させるときに押します。
- ⑧ **√** ルートキー：開平計算を行うときに押します。
- ⑨ **→** 右シフトキー：表示数値が1桁ずつ右に移動します。置数値を1桁訂正するときを使用します。また、置数時のエラーや概算エラーを解除するときにも使用します。(25ページ参照)
- ⑩ **CM** クリアメモリーキー：メモリーの内容をクリアします。
- ⑪ **RM** リコールメモリーキー：メモリーの内容を呼び出します。
このとき、メモリー内の数値は変わりません。

⑫ **M-** メモリーマイナスキー：メモリーから減算します。

⑬ **M+** メモリープラスキー：メモリーに加算します。

⑭ **.** **00** **0** ~ **9** 置数キー

数値を入力するときに押します。

キーを押しながら別のキーを押しても有効です。(2キーロールオーバー機能)

例： **1** を押したまま **2** を押すと **1** を離したときに“2”が入力されます。

⑮ **+** **-** **×** **÷** 四則計算キー

四則計算(加減乗除算)を行うときにそれぞれ押します。

これらのキーを押しまちがえた場合は、それぞれ押しかえることにより訂正できます。(25ページ参照)

⑯ **=** イコールキー

⑰ **%** パーセントキー

~ 期間計算キー

日数計算である期間の日数を求めるときに使用します。

⑱ **CE** クリアエントリーキー

置数直後やメモリー(GTメモリー含む)の内容を呼び出したときなどに押せば表示数値がクリアされます。置数値全体を訂正するときに使用します。

また、置数時のエラーや概算エラーを解除することもできます。(25ページ参照)

⑲ **CA** クリアオールキー

- メモリー(GTメモリー含む)を含めて、電卓内をすべてクリア(ご破算)します。
- 意味のない数字や記号が表示されているとき、**C** を押しても解除できない場合に押します。

⑩ 液晶表示部



液晶表示部には置数値、計算結果、記号(シンボル)などが表示されます。

(シンボルは、説明のためすべて記載していますが、すべてのシンボルが同時に表示されることはありません。)

88 置数の回数や [=] を連続して押した回数などが表示されます。(カウンター：00~99)

[=回数] [=] を連続して押したとき、メモリー(GTメモリー含む)の内容を呼び出したときに表示されます。

M メモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。このシンボルは [CM] を押すか、[CA] を押すと消えます。

G GTメモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。このシンボルは [GT] を2回押すか、[CA] を押すと消えます。

E エラーが発生したとき表示されます。

• [+], [-], [X], [÷], [~] を押したとき表示されます。表示中にそれ以外のキーを押すと“●”は消えます。
● 数値が負のとき表示数値の左側に表示されます。

= [=], [%] を押して答えを求めたとき、[M+]、[M-] を押してメモリーの加減算を行ったとき表示されます。

時間 時間計算モードのとき表示されます。

日数 日数計算モードのとき表示されます。

月 日 日数計算モードで月日を入力したときや期日を求めたときに表示されます。日数を求めたときは“日”のみの表示となります。

~ 日数計算モードで始まりの月・日を入力して [~] を押したとき表示されます。

+ - X ÷ [+], [-], [X], [÷] を押したとき表示されます。


⑪ 太陽電池部



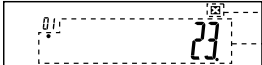








カウンターとシンボル表示の見かた

- この電卓には次のカウント表示機能があります。(画面左上)
 - ①入力した数値の個数を表示する
 - ② \equiv を連続して押した回数を表示する
 - ③メモリーに累計、加算、メモリーから減算した回数を表示する連続計算を行う場合、何番目の数値を入力しているか確認できます。四則計算、日数計算および時間計算を行うときのみ有効です。
- \oplus 、 \ominus 、 \otimes 、 \div のどれを押したかをシンボルで表示します。計算を途中で中断した場合に便利です。

【例】 $23 \times (-2) \div 4 = -11.5$

スイッチ位置：GT…“•”、TAB…“F”、ラウンド…“5/4”


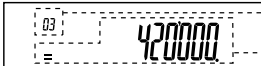


操 作	表 示
C	 カウンター 電卓内をクリアする。

操 作	表 示	
2 3		数値を入力するとカウンターが上がる。
		 を押したことを示す。 中間値
2 		負数が入力されカウンターが1つだけ上がる。
		 を押したことを示す。 中間値 (23×(-2))
4 		数値の入力を3回行った。 計算結果

- 複利終価など求める場合に、**[=]** を連続して押した回数をカウンターで表示します。

【例】 元金400,000円、年利率5%、1年1期の複利で3年間貸したとき1年ごとの複利終価はいくらになるかを求めます。

スイッチ位置：GT…“•”、TAB…“F”

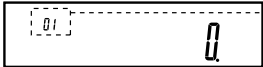



操 作	表 示
[C]	 カウンター 電卓内をクリアする。
1 [+] 0.05 [×] 400000 [=]	 数値の入力を3回行った。 1年後の複利終価
[=]	 [=] を連続して押した回数を表示。 2年後の複利終価
[=]	 [=] が押されカウンターが1つあがる。 3年後の複利終価

- GTメモリー計算においてGTメモリーに累計した回数をカウンターで表示します。

【例】 $478 + 896 + 101 = 1475$
 $+) 357 - 741 - 200 = -584$

891

スイッチ位置：GT…“GT”、TAB…“F”

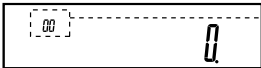



操 作	表 示
\boxed{C} \boxed{GT} \boxed{GT}	 <p>カウンター 電卓内、GTメモリーをクリアする。</p>
478 $\boxed{+}$ 896 $\boxed{+}$ 101 $\boxed{=}$	 <p>数値の入力を3回行った。</p>
357 $\boxed{-}$ 741 $\boxed{-}$ 200 $\boxed{=}$	
\boxed{GT}	 <p>2個の数値をGTメモリーに累計した。 GTメモリーの内容</p>

- \boxed{CA} または \boxed{GT} を2回押すと、GTメモリーの内容およびGTメモリーに対するカウンターはクリアされます。

- メモリー計算において、メモリーに加算、メモリーから減算した回数をカウンターで表示します。

【例】 $25 \times 5 = 125$
 $\text{—} 84 \div 3 = 28$
 97

スイッチ位置：GT…“•”、TAB…“F”

操 作	表 示
\boxed{C} \boxed{CM}	 <p>カウンター 電卓内、メモリーをクリアする。</p>
25 $\boxed{\times}$ 5 $\boxed{M+}$	 <p>数値の入力を2回行った。 メモリーに数値を加算した。</p>
84 $\boxed{\div}$ 3 $\boxed{M-}$	 <p>メモリーから数値を減算した。</p>
\boxed{RM}	 <p>$\boxed{M+}$、$\boxed{M-}$ を押した回数 メモリーの内容</p>

- \boxed{CA} または \boxed{CM} を押すと、メモリーの内容およびメモリーに対するカウンターはクリアされます。

時間計算のしかた

■ 時間計算できる範囲

- 加減乗除算、定数計算、メモリー計算、GTメモリー計算、パーセント計算ができます。
- -999999時間59分59秒~999999時間59分59秒まで計算できます。
- 時・分・秒に入力できる数値は、次の通りです。
 - 時…6桁まで入力できます。
 - 分・秒 ——— 0から99まで入力できます。
 - 60以上の数値を入力すると、分は時に、秒は分に繰り上がります。
 - 3桁以上の数値を入力したときは、下2桁が有効になります。
- 時を入力(例：4 日数/時間)すると“4-00'--.”の表示になりますが、このとき右端に表示される“--”は秒の入力位置を表します。分を入力すると“--”は“00”に変わります。
- 時間計算は60進数を10進数に変換し、13桁目を切り捨てて計算を行うため誤差が生じることがあります。
なお、60進数で表示するときは、秒以下を四捨五入して結果を表示します。

■ 計算のしかた

- これ以降の計算例では、スイッチは次のように設定してください。

GT…“•”、TAB…“F”、ラウンド…“5/4”

◆ 加算

【例】 4時間15分20秒
 + 3時間50分18秒

 (計) 8時間05分38秒

操 作	表 示
C [日数/時間] ([日数/時間]) ★ ¹	00 時間 0.
4 [日数/時間] 15 [日数/時間] 20 [+]	01 時間 4-1520.
3 [日数/時間] 50 [日数/時間] 18	02 時間 3-5018.
[=]	02 時間 = 8-0538.

★¹ 時間計算モードにするために、1回または2回、**[日数/時間]**を押してください。

◆乗算

【例】 時給1,500円で(A)(B)が下記の時間働いたときの合計賃金は？

(A) 20時間30分 (B) 18時間

操 作	表 示
C 日数/時間 (日数/時間)	00 時間 0
20 日数/時間 30 +	01 時間 20-3000
18 日数/時間 ×	02 時間 38-3000
1500	03 時間 1500
=	03 時間 57750

- 結果表示後、**日数/時間** を押すたびに60進数と10進数を交互に表示します。
- 入力をまちがえたときは、**CE** を押してもう一度入力するか、**→** により置数値を訂正してください。
- **C** を押すまで、時間計算を続けて行うことができます。

- この電卓の60進数での演算仕様は次のとおりです。

(60進数)+(60進数)=(60進数)

(60進数)+(10進数)=(60進数)

(10進数)+(60進数)=(60進数)

* 減算の場合は上記(加算)に同じ

(60進数)×(60進数)=(10進数)

(60進数)×(10進数)=(10進数)

(10進数)×(60進数)=(10進数)

* 除算の場合は上記(乗算)に同じ

日数計算のしかた

■ 日数計算(初日：ある期間の始まる日付、期日：ある期間の終わる日付)

期間計算：初日と期日から、その期間の日数を調べることができます。

期日計算：指定した日付(初日)から、期間日数後または前の日付(期日)を調べることができます。

- 1年以内(両入：366日、片落：365日、両落：364日)・・・期間/期日計算
- 同日から同日を指定すると、翌年までの日数を計算します。・・・期間計算
例：4月1日～4月1日(片落)→365日
- 0日前(後)の計算はできません。また、両入では1日前(後)の計算もできません。
・・・期日計算
- 入力あるいは計算で求めた月・日のメモリー計算はできません。・・・期間/期日計算
- うるう年(2月29日を日数に含む)の計算はできません。・・・期間/期日計算
- 最初の入力月日を、定数として計算することができます。・・・期間/期日計算

◆ 両入、片落、両落の意味

両入：始まりの日も終わりの日も日数として数える。(両端入れ)

片落：始まりの日か、終わりの日のどちらかを日数として数えない。(片落し)

両落：始まりの日も終わりの日も日数として数えない。(両端落し)

■ 期間計算

- ◆ ある期間の日数を調べるには
(期間計算)

【例】 10月21日から12月24日までの日数は？
(片落し：10月21日は入れないで計算)
両入・片落・両落スイッチ…“片落”

操 作	表 示
① [C] 日数/時間 (日数/時間)*1	00 日数 0
② 10 [日数/時間] 21 [~]	01 日数 月 日 ☒ 10 21
③ 12 [日数/時間] 24	02 日数 月 日 ☒ 12 24
④ [=]	02 日数 日 64

*1 日数計算モードにするために、1回または2回、[日数/時間]を押してください。

ご注意：● 入力をまちがえたときは、[CE]を押してもう一度入力してください。

- [C] を押すまで、日数計算を続けて行うことができます。
- 期日計算では、[X] (または [÷]) を押しても無効です。

■ 期日計算

- ◆ ある日付から期間日数後の日付を調べるには
(期日計算)

【例】 3月27日から50日後の日付は？
(両端入れ：3月27日を入れて計算)
両入・片落・両落スイッチ…“両入”

操 作	表 示
① [C] 日数/時間 (日数/時間)	00 日数 0
② 3 [日数/時間] 27 [+]	01 日数 月 日 ☒ 3 27
③ 50	02 日数 ☒ 50
④ [=]	02 日数 月 日 5 15

● 何日前の日付を調べるには、日付を入力した後 [+] のかわりに [-] を押します。

■ うるう年の日数計算

この電卓は、うるう年（2月29日を日数に含む）の計算はできません。2月29日は日付として入力できません。うるう年の計算をする場合は、次のようにしてください。

種 類		求めかた
1	2月29日をはさんだ期間の計算	計算で求めた日数に1日加えます。
2	2月29日をはさんだ期日の計算	何日後 計算で求めた期日の前日です。
3		何日前 計算で求めた期日の翌日です。
4	初日が2月29日の日数計算	2月29日のかわりに2月28日を入力します。
5	期日が2月29日の日数計算	2月29日のかわりに3月1日を入力します。

【例】 2月25日～3月9日までの日数は？（片落し）

- 計算結果：12日

上表の1にあてはまり、1日加えた**13日**となります。

【例】 2月25日から50日後は？（両端入れ）

- 計算結果：4月15日

上表の2にあてはまり、前日の**4月14日**となります。

基本計算のしかた

- 計算を始める前に **C** を押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。
- 特に指定していないスイッチの位置は、どこにあってもさしつかえありません。
- 実際には、カウンターや“=”、“ \div ”、“ \times ”、“ \pm ”、“ $\frac{\square}{\square}$ ”のシンボルが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。

計 算 例	スG イ T ッ チ	スT イ A ッ チ	ス5 イ/ ッ チ	キ 一 操 作	表 示
加減乗除算 12.3-15.2+26.7=23.8	●	2		12.3 \square 15.2 \square 26.7 \square	23.80
3750 \div 8 \times 4.3=2015.625	●	4	5/4	3750 \square 8 \square 4.3 \square	2'015.6250
12 \times 45 \div 7=77.142857...	●	5	5/4	12 \square 45 \square 7 \square	77.14286
(-1.2) \times 32 \div 0.4=-96	●	F		1.2 \square \square 32 \square 0.4 \square ↑負数を置数するときに押します。	-96.
定数計算 34+57=91 45+57=102	●	0		34 \square 57 \square 45 \square	91. 102.
48-23=25 14-23=-9	●	0		48 \square 23 \square 14 \square	25. -9.

計 算 例	ス G イ T ッ チ	ス T A B イ ッ チ	ス 5 イ / ッ チ	キ ー 操 作	表 示
$68 \times 25 = 1700$ $68 \times 40 = 2720$	●	0		$68 \times 25 =$ $40 =$ (被乗数68×が 定数となります)	$1'700.$ $2'720.$
$35 \div 14 = 2.5$ $98 \div 14 = 7$	●	F		$35 \div 14 =$ $98 =$ (除数÷1.4が定 数となります)	2.5 $7.$
パーセント計算 200の10%は?	●	0		$200 \times 10 \% =$	$20.$
9は36の何%?	●	0		$9 \div 36 \% =$	$25.$
割増・割引計算 200の10%増しは?	●	0		$200 \times 10 \% + =$ (または $200 + 10 \% =$)	$220.$
500の20%引きは?	●	0		$500 \times 20 \% - =$ (または $500 - 20 \% =$)	$400.$
べき計算 $4^6 = (4^3)^2 = 4096$	●	0		$4 \times = = \times =$	$4'096.$
開平計算 $\sqrt{6} + \sqrt{5} = 4.685557\dots$	●	3	↓	$6 \sqrt{ } + 5 \sqrt{ } =$	4.685
逆数計算 $\frac{1}{5+7} = 0.0833\dots$	●	3	↑	$5 + 7 \div =$	0.084

計 算 例	ス イ ツ チ	ス イ ツ チ	ス イ ツ チ	キ ー 操 作	表 示
メモリー計算 (累計) $25 \times 5 = 125$ $-) 84 \div 3 = 28$ $+) 68 + 17 = 85$ <hr/> (計)182	●	0		↓ 計算の前にメモリーをクリアします。 $\boxed{CM} 25 \boxed{\times} 5 \boxed{M+}$ $84 \boxed{\div} 3 \boxed{M-}$ $68 \boxed{+} 17 \boxed{M+}$ \boxed{RM} ($\boxed{M+}$ 、 $\boxed{M-}$ は $\boxed{=}$ の働きもかねています)	M 125. M 28. M 85. M 182.
(一時記憶) $(52-35) \div (14-3 \times 2)$ $= 2.125$	●	F		$\boxed{CM} 14 \boxed{M+} 3 \boxed{\times} 2 \boxed{M-}$ $52 \boxed{-} 35 \boxed{\div} \boxed{RM} \boxed{=}$	M 6. M 2.125
(定数記憶) $135 \times (12+14) = 3510$ $(12+14) \div 5 = 5.2$	●	F		$\boxed{CM} 12 \boxed{+} 14 \boxed{M+}$ $135 \boxed{\times} \boxed{RM} \boxed{=}$ $\boxed{RM} \boxed{\div} 5 \boxed{=}$	M 26. M 3'510. M 5.2
(単利計算) 483,000円を年利率5.5%で179日間貸し付けました。期日に受け取る元利合計はいくらになるかを求めます。	●	0	↓	$\boxed{CM} 483000 \boxed{M+}$ $\boxed{\times} 5.5 \boxed{\%} \boxed{\times} 179 \boxed{\div}$ $365 \boxed{M+}$ \boxed{RM}	M 483'000. M 4'755'135. M 13'027. M 496'027.

計 算 例	ス G T イ ツ チ	ス T A B イ ツ チ	ス 5 イ / ツ チ 4	キ ー 操 作	表 示
GTメモリー $23.5+42.3=65.8$ $72.4-37.3+12=47.1$ +) $27-19-21.6=-13.6$ <hr/> (計)99.3	GT	F		↓ 計算を始める前にグランドトータルメモリーをクリアします。 $\boxed{GT} \boxed{GT} 23.5 \boxed{+} 42.3 \boxed{=}$ $72.4 \boxed{-} 37.3 \boxed{+} 12 \boxed{=}$ $27 \boxed{-} 19 \boxed{-} 21.6 \boxed{=}$ \boxed{GT}	G 65.8 G 47.1 G -13.6 G 99.3
アディングモード 1円45銭 56円76銭 45円00銭 -7円63銭 <hr/> (計)95円58銭	●	A		$145 \quad \boxed{+}$ $5676 \quad \boxed{+}$ $4500 \quad \boxed{+}$ $763 \quad \boxed{+/-} \boxed{=}$	1.45 58.21 103.21 95.58

入力訂正のしかた スイッチ位置：GT…“•”、TAB…“F”

誤	正	訂正操作	表示
$2 + 3$	$2 + 4 = 6$	$2 \boxed{+} 3 \boxed{CE}$ (または $\boxed{\rightarrow}$) $4 \boxed{=}$	6.
5×2	$5 \div 2 = 2.5$	$5 \boxed{\times} \boxed{\div} 2 \boxed{=}$	2.5
123456	123478	$123456 \boxed{\rightarrow} \boxed{\rightarrow} 78$	123'478.

応用計算

- カウンターについては、行単位のキー操作が終了したときに、 $\boxed{=}$ を連続して押した回数、メモリーに累計、加算、メモリーから減算した回数が表示される場合のみ記載します。
- 実際には、カウンターや“=”、“ $\boxed{+}$ ”、“ $\boxed{-}$ ”、“ $\boxed{\times}$ ”、“ $\boxed{\div}$ ”のシンボルが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。
- 各計算例の問題内容、数値や計算方法などは実務上のものと異なる場合があります。

見取算

次の見取算を計算しなさい。構成比率(%)は小数第2位未満を四捨五入して求めます。

No	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	394	528	80	951	254
2	51	-76	429	-672	753
3	267	-103	61	-483	610
計	① 712	② 349	③ 570	⑤ -204	⑥ 1617
小計	④ 1631	構成比率 ⑩ 53.58		⑦ 1413	構成比率 ⑨ 46.42
合計	⑧ 3044				

スイッチの設定：GT…“GT”、TAB…“2”、ラウンド…“5/4”

キ ー 操 作	表 示
GT GT CM	0.
394 + 51 + 267 =	G 712.00 ①
528 - 76 - 103 =	G 349.00 ②
80 + 429 + 61 =	G 570.00 ③
GT M+	MG 1'631.00 ④
GT GT	M 1'631.00
951 - 672 - 483 =	MG -204.00 ⑤
254 + 753 + 610 =	MG 1'617.00 ⑥
GT M+	MG 1'413.00 ⑦
RM	02 =回数 MG 3'044.00 ⑧
GT ÷ RM %	MG 46.42 ⑨
1631 %	MG 53.58 ⑩

手形割引計算

4月26日満期、額面560,000円の手形を2月6日に割引率9.26%で割引きました。手取り金はいくらになるかを求めます。

スイッチの設定：GT…“•”、TAB…“0”、両入・片落・両落…“両入”

キ ー 操 作	表 示
[C] 日数/時間 (日数/時間)	
2 日数/時間 6 [~]	日数 2月 6日
4 日数/時間 26 [=]	日数 80日

[C] [CM]	0.
560000 [M+]	M 560'000.
80 [X] [RM] [X]	M 44'800'000.
0.0926 [÷] 365 [M-]	M 11'365.
[RM]	02 [=回数] M 548'635.

- まず割引日数(2月6日～4月26日までの期間)を求めます。

割引日数 80日(両端入れ)

- 割引日数を求めたのち、ラウンドスイッチを“↓”に設定します。

手取り金 548,635円

複利計算

4年6ヶ月後に支払う負債640,000円の複利現価はいくらになるかを求めます。ただし、年利率6%、半年1期の複利とします。

スイッチの設定：GT…“•”、TAB…“F”

【例1】 複利現価表を使用する

利率=3% 期数=9期……0.76641673

キ ー 操 作	表 示
640000 <input type="button" value="×"/> 0.76641673 <input type="button" value="="/>	490'506.7072

複利現価 490,507円(円未満四捨五入)

【例2】 複利現価表を使用しない

キ ー 操 作	表 示
640000 <input type="button" value="÷"/> 1.03 <input type="button" value="="/> <input type="button" value="="/> <input type="button" value="~"/> <input type="button" value="="/> <input type="button" value="="/> └ <input type="button" value="="/> 9回押す。(9期分)	09 <input type="button" value="="/> 回数 490'506.708696

複利現価 490,507円(円未満四捨五入)

減価償却計算

取得価額1,000,000円、耐用年数8年の固定資産を定率法で減価償却すると、第4期首帳簿価額はいくらになるかを求めます。ただし、償却率は0.250、取得年度の償却月数は12、決算は年1回とします。

スイッチの設定：GT…“•”、TAB…“F”

キ ー 操 作	表 示
1 <input type="text" value="0.250"/> <input type="text" value="x"/> <input type="text" value="="/> <input type="text" value="="/> <input type="text" value="x"/> 1000000 <input type="text" value="="/>	02 <input type="text" value="回数"/> 0.421875 421'875

第4期首帳簿価額 421,875円

または

GT…“•”、TAB……“0”、ラウンド…“↓”

キ ー 操 作	表 示
<input type="text" value="CM"/>	0.
1000000 <input type="text" value="M+"/> <input type="text" value="x"/> 0.250	M 0.250
<input type="text" value="M-"/>	M 250'000.
<input type="text" value="RM"/> <input type="text" value="x"/> 0.250 <input type="text" value="M-"/>	M 187'500.
<input type="text" value="RM"/> <input type="text" value="x"/> 0.250 <input type="text" value="M-"/>	M 140'625.
<input type="text" value="RM"/>	04 <input type="text" value="回数"/> M 421'875.

第4期首帳簿価額

エラーについて

次の場合はエラーとなり、“E”シンボルを表示します。このときは **C** でエラーを解除してください。

(③、⑦、⑧、⑩の場合は **CE** または **→** でも解除できます。)

- ① 負数の平方根を求めたとき 例：5 **+/-** **√**
- ② 除数が0の除算を行ったとき 例：5 **÷** 0 **=**
- ③ 整数部を13桁以上入力したとき
- ④ メモリー(GTメモリーを含む)の数値の整数部が12桁を超えたとき
(エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは、メモリーは **CM** を1回、GTメモリーは **GT** を2回押します。)
- ⑤ 割増・割引計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が12桁を超えたとき
- ⑥ 期日計算の範囲が1年(両入：366日、片落：365日、両落：364日)を超えたとき
- ⑦ 日数計算モードで誤った日付、日数を入力したとき

例 **C** **日数/時間** (**日数/時間**) 1 **日数/時間**
32 **+** → E 1月 32日
CE → 0.

↑ エラー解除

⑧ 時間計算モードで時間として7桁以上入力したとき

例 **C** **日数/時間** (**日数/時間**) 9999999
日数/時間 → ^E 9'999'999.
CE → 0.

↑ エラー解除

⑨ 時間計算の結果の時間部分が7桁以上になるとき

ご注意：⑦～⑨のエラー解除で**C**を押した場合は、もう一度モードを設定し直してください。

⑩ 計算結果の整数部が13～24桁になったとき：概算

例：TABスイッチを“F”位置にします。

987654320988 **÷**
0.444 **×** → ^E 2.22444666889 [⊠]
エラー解除 → **CE** → ^E 2.22444666889 [⊠]
555 **=** → 1'234.56790123

↑ 兆の位

(概数1234兆5679億123万)

ご注意：計算結果の整数部が25桁になった場合、概算はできません。表示：“^E

0.”

電源について

この電卓は“リチウム電池”と光を電気に変える“太陽電池”の2つの電源方式(ツインパワー)を採用しています。

この2つの電源方式により、通常は太陽電池で動作し、使用中に光がさえぎられても、リチウム電池により計算内容などを保護します。

■ 自動節電機能(オートパワーオフ機能)

この電卓は、約7分間キー操作をしないと、電池保護のため自動的に電源が切れ表示が消えます。使用状態により、数分の長短があります。

新たに計算をするときは、**ON**を押してください。メモリー(GTメモリー含む)の内容は保持されています。

■ 電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

■ 電池交換の時期

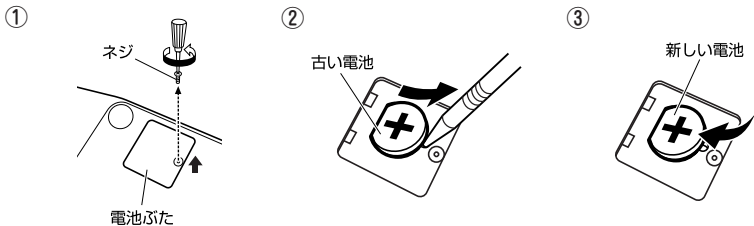
暗い場所で使用しているとき、次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 自動節電機能(オートパワーオフ機能)が働いて表示が消えているとき、**ON** または **CA** を押しても何も表示しない。

■ 電池交換のしかた

使用する電池はリチウム電池(CR2032) 1個です。

ご注意： 電池交換をすると、メモリー(GTメモリー含む)の内容が変化・消失する場合があります。



電池を交換したら

- **[ON]** **[CA]** と押し、液晶表示部に“0.”が表示されることを確認してください。もし、“0.”が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。(光が太陽電池部に当たらないようにさえぎった状態で確認してください。)
- 電池ぶたを取り付けます。

仕様

形名	: EL-G37
品名	: 学校用電卓
表示	: 液晶
計算桁数(概算)	: 12桁(13~24桁)
計算機能	: 加減乗除、定数、パーセント、割増・割引、べき乗、開平、逆数、メモリー計算、日数計算、時間計算など
電源	: 太陽電池(本体に組み込み) 3.0V $\ddot{=}$ (DC) : リチウム電池(CR2032)1個(本体内存)
リチウム電池使用時間	: 約7年(内存リチウム電池のみで1日当たり1時間使用した場合) ・使用環境や使用方法により変動します。
自動節電機能	: 約7分
使用温度	: 0℃~40℃
外形寸法	: 幅112mm×奥行181mm×厚さ35mm
質量	: 約202g (電池含む)
付属品	: リチウム電池1個(本体内存)、ネームラベル3枚(大、中、小)、ソフトケース、取扱説明書* *当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

・この製品の上キャビ、下キャビには環境に配慮した再生プラスチックを使用しています。

アフターサービス/保証内容について

◆修理を依頼されるときは

仕様および使用上のご注意に従った正常な使用状態で、故障した場合には、修理ご相談窓口にて修理をお申しつけください。保証期間中（お買いあげの日から3年間）は、無料で修理または同等品と交換させていただきます。

★保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
- (ロ) お買いあげ後の落下、水没、水かぶりなどによる故障・損傷（液晶割れなど）。
- (ハ) 過酷な使用による故障・損傷
- (ニ) 火災・公害、および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷
- (ホ) 電池の液もれ、または、指定規格外の電池の使用による故障・損傷
- (ヘ) 消耗部品（リチウム電池）が損耗し、取り替えが必要な場合



使いかたや修理のご相談

お客様相談センター



0120-303-909

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～18:00

(年末年始を除く) ●日曜・祝日：9:00～17:00

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…。

電話	FAX
06-6792-1583	06-6792-5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

- 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.8)

◆修理送付先について

(電卓)消費者相談係に郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お買いあげ年月日および販売店名(または、贈答品)、故障内容などを記入のうえ製品を郵送してください。

(送料はお客様負担)

〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町 492
シャープ株式会社 通信システム事業本部
(電卓) 消費者相談係宛

(電卓)消費者相談係における個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報(ご住所、お名前など)は、修理やご相談のためにのみ利用させていただきます。

シャープ電卓ホームページのご案内

- ホームページでも、くわしく商品をご紹介します。 <http://www.sharp.co.jp/calc/>

修理メモ

メモ

× ㊦

■よくある質問などはパソコンから検索できます。



<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ お問い合わせ **検索**

シャープ製品オーナーの会員サイト(無料)より、製品をぜひご登録ください。



人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト

SHARP i CLUB

携帯電話から
でもご利用
いただけます



今すぐご登録!

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
モバイルソリューション事業部

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

PRINTED IN CHINA
12JT(TINSJA014EHZZ)